

"しんじ"を信じる 京都府議会議員 第5号 編集・発行 ニノ湯しんじ事務所

〒616-8167 京都市右京区太秦多藪町44-1
TEL: 075-862-1355 FAX: 075-862-1350
✉ ninoyushinji@palette.plala.or.jp

ニノ湯しんじ通信

～今こそ、伝統が未来を拓く!～

12月5日の本会議で、自民党議員団を代表して質問しました。TV放映されたため、後日多くのお声を頂きました。有難うございます。以下が概要です。

京都府政の基本方針について

(二ノ湯) 戦後、地域や家族等の集団より個人の自由・権利が尊重され過ぎたため、近年行き過ぎた利己主義が増える一方で、孤独を感じる人も増えた。家族や地域で助け合う良き伝統に学び直すべきと思うが、知事はどう考えるか?

(山田知事) 就任以来、人と人との絆づくりを行政の基本姿勢としてきた。戦後、豊かさを手に入れる中で、助け合いよりも個の主張が目立つようになったからだ。日本人の美徳を見つめ直すことは必要だ。

地域力の再生について

(二ノ湯) 人の顔が見える地域社会は、安心・安全や教育力などの機能を担っているが、若者の理解が不足し参加が進まない。行政が、地域社会の実態や、それが個人の幸せにも寄与することを積極的に伝えるべきではないか? 地域社会への参加を促す仕組みづくりも検討すべきだ。

(山田知事) 地縁組織の活性化のために、NPOや大学などが課題解決のために地域に入り込める、開放型の地域社会を創るべきだ。広域行政を担う京都府はそうした活動を支援する中で、より多くの方の地域社会への参加を促したい。

府市協調について

(二ノ湯) 住民目線で府市協調を進め二重行政を排除するために「府市行政協同パネル」が設置されたが、議会の意見も聞き議論を活性化すべきではないか?

(山田知事) 府と市の間にある課題を住民に見える形にすることは意義がある。今後は、府民や議会からの意見も頂きながら進めていきたい。

住民目線の地域代表として



旧年中は大変お世話になり有難うございました。本年もご指導のほど宜しくお願い申し上げます。まだまだ寒い日が続きます。くれぐれもご自愛のうえ、お健やかに過ごしてください。

府議会情報

【12月議会】

- 12月1日～9日 …… 本会議
- 12月11日～15日 …… 特別委員会
- 12月17日 …… 本会議
- 緊急経済対策のため
に補正予算案などを可決しました。

【2月議会】

- 2月10日～2月20日 …… 本会議
- 2月23日～3月17日 …… 特別委員会
- 3月18日～19日 …… 特別委員会
- 3月24日 …… 本会議

そんな今、私は地域代表としての責任を痛感しています。真の意味での地域住民の目線で活動できる立場は、やはり地方議員です。これからも私は、もっと地域との人間的な繋がりを持ち、皆様に「声が届いている」と実感して頂けるような議員を目指して頑張ります。引き続きのご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

ホームページもご覧下さい!
URL: www.ninoyu.net

◆ブログも随時更新中!是非ご覧下さい。

ニノ湯しんじ

検索



◆携帯電話用のメールマガジンの配信も行っております。ご登録は、HPもしくは右のQRコードからお願いします。

<色々な形で活動をお伝えします。皆様からもご意見や感想をお願い致します。>

ビデオの貸出を致します!

- ◎ 「政治を語る」(TV常任委員会)
 - ◎ 本会議質問 19年度2月議会、20年度9月・12月議会のビデオをお貸し致します。
- なお、これらの様子は、府議会HPでもご覧いただけます。
<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/>



12月本会議 代表質問

12月5日の本会議で、自民党議員団を代表して質問しました。TV放映されたため、後日多くのお声を頂きました。有難うございます。以下が概要です。

京都府政の基本方針について

(二ノ湯) 戦後、地域や家族等の集団より個人の自由・権利が尊重され過ぎたため、近年行き過ぎた利己主義が増える一方で、孤独を感じる人も増えた。家族や地域で助け合う良き伝統に学び直すべきと思うが、知事はどう考えるか?

(山田知事) 就任以来、人と人との絆づくりを行政の基本姿勢としてきた。戦後、豊かさを手に入れる中で、助け合いよりも個の主張が目立つようになったからだ。日本人の美徳を見つめ直すことは必要だ。

地域力の再生について

(二ノ湯) 人の顔が見える地域社会は、安心・安全や教育力などの機能を担っているが、若者の理解が不足し参加が進まない。行政が、地域社会の実態や、それが個人の幸せにも寄与することを積極的に伝えるべきではないか? 地域社会への参加を促す仕組みづくりも検討すべきだ。

(山田知事) 地縁組織の活性化のために、NPOや大学などが課題解決のために地域に入り込める、開放型の地域社会を創るべきだ。広域行政を担う京都府はそうした活動を支援する中で、より多くの方の地域社会への参加を促したい。

府市協調について

(二ノ湯) 住民目線で府市協調を進め二重行政を排除するために「府市行政協同パネル」が設置されたが、議会の意見も聞き議論を活性化すべきではないか?

(山田知事) 府と市の間にある課題を住民に見える形にすることは意義がある。今後は、府民や議会からの意見も頂きながら進めていきたい。



文化による新産業育成について

(二ノ湯) グローバル経済の中では各国が個性を発揮することが必要だ。日本文化の集積地の京都こそが、国民に夢と希望を与えるべく、文化による産業育成を主導すべきである。

(山田知事) 京都に蓄積された文化が今の生活様式に活かせるようなシステムづくりが行政の重要な仕事だ。文化でビジネスを興す「文化ベンチャー」や伝統産業と先端産業の融合を進める「京都新光悦村」での取組み等を続けることも、他の強みと連携し京都全体の力を高めたい。

行財政改革と京都府の体制について

(二ノ湯) 10年の京都府の行財政改革が大きな成果を挙げたことは評価するが、厳しい経済状況を乗り切つて希望ある京都府を築き上げるためには、予算と人員の削減を続けても良いのか。方針を見直すべきと思う。

(山田知事) 交付税は公務員の削減を前提に減額しており、人員を削るか住民サービスを削るか二者択一に迫られている。景気の急速な悪化の中で、住民サービスを下げずに思い切った予算を組むには短期的には相当な無理があるが、どこまで可能か議会ともよく相談したい。

駐車禁止除外指定車標章について

(二ノ湯) 交付対象から外れた下肢障害者に、駐車禁止除外指定車標章を交付できるよう道路交通規則を再改正すべきではないか?

(熊崎警察本部長) 標章の交付を求める多くの要望を頂いている。規則については、改正後2年を目途に要望を受け誠実に検討し対応したい。

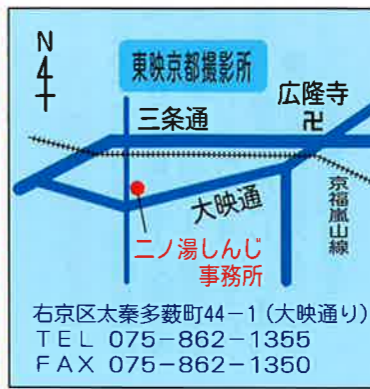
森林環境税について

(二ノ湯) 最後に1点要望する。環境・防災・山村集落の活性化の点から、放置林を整備する財源を早期にしっかりと確保すべきである。

事務所へお気軽にお越しください

皆様にとって、国と京都府・市町村の仕事の役割分担は分かりにくいものです。「どこに相談に行けばいいのかわからない」とお悩みになる前に、私の事務所を行政の総合窓口としてご利用下さい。

地域やNPOなどの団体での取り組みや課題などについても、色々ご相談下さい。



◆ともにご語り合いましょー!

二ノ湯しんじは、教育のこと、環境のこと、福祉のこと、地域のこと、そして京都や日本の未来のことなど、皆様とお話をできる場をたくさん作っていきたく考えています。時間や場所、人数は問いません。どのような会でも結構です。皆様のお声を聞かせてください。

◎お問い合わせは、ニノ湯しんじ事務所まで

活動日記

12月の主な活動

- 3日：京都府戦没英霊追悼慰霊祭
- 8日：「新しい行政経営改革プラン」についての勉強会
- 11日：京都府建設業協会との意見交換会
- 12日：京都・嵐山花灯路2008開会式
- 13日：青年政治大学校（自民党府連青年局主催）
- 14日：京都環境フェスティバル、西院第2学区もちつき大会
- 15日：京都商店連盟との意見交換会
- 16日：自民党府会議員団が知事へ予算要望
- 17日：丹波広域基幹林道の早期完成を知事へ要望
- 18日：京都特産北山丸太展示大会



<自民党府会議員団が知事へ予算要望>

最大会派として、厳しい経済状況の中で府民生活を守るための予算を要望しました。



<「新しい行政経営改革プラン」についての勉強会>

府県をまたがる問題に取り組み、国からの権限移譲の受け皿となり、東京一極集中の是正を狙う関西広域連合について、勉強しました。

京都府の21年度予算案は「京都温め予算」

京都府の平成21年度予算案は、世界的な大不況で府税収入が530億円も減る見通しの中で、一般会計は前年度比で3%増額の約8480億円です。不況で民間に元気がない時こそ、行政が頑張るといふ意思を示した形です。特に、いわゆる公共事業費が前年度比で11%に増やすなど、雇用・環境・福祉などに重点配分し、京都を温める予算としています。私は、昨年の12月議会で「ただひたすらに人員と予算を削減し続けるのは良くない」と質したので、この予算案は評価したいと思います。

やみくもに借金をして予算を大きくし、将来世代の負担を大きくするだけなら問題です。しかし、人件費を88億円削減するなど行政改革をさらに進め、公共事業も大部分は学校の耐震化事業など必要な事業の前倒しであり、借金にしても将来国が交付税で負担してくれる「臨時財政対策債」を大いに活用するなどの工夫が見られます。

この予算案を審議するために予算特別委員会が設置され、2月23日から3月17日まで集中審議が行われます。私も委員に選ばれました。しっかりと頑張ります。



<長男の誕生>

17時39分、3302グラムの男の子を授かりました。「様々なものを一つにまとめる大きな樹のような人になって欲しい」と一樹（いつき）と名づけました。



<総務常任委員会管外調査>

環境問題などの諸課題は行政だけでは解決できません。国民一人ひとりの意識と行動が大切です。自治に関する住民の役割なども書き込んだ条例を検討・制定している自治体を調査しました。

1月の主な活動

- 10日：太秦学区新春懇親会、自民党京都府連新春懇親会
- 11日：京都市消防出初式、梅津消防分団出初式
- 15日：総務常任委員会「自治基本条例について」
- 19日：京都機械金属中小企業青年連絡会の勉強会
- 22日：京都府新総合計画「明日の京都」有識者会議を傍聴
- 26日～27日：総務常任委員会管外調査
- 28日：長男の誕生
- 31日：京都府私立幼稚園かいが展、青年政治大学校

インターン学生、奮闘中!!

現在、二ノ湯しんじ事務所では6人の学生が研修しています。私自身、学生時代に国会議員事務所での研修や、海外で日本文化を紹介する国際文化交流事業を経験し、学外での活動が大変勉強になったので、今度は私が学生にそうした機会を与えられたらと思っています。

今までに受け入れた学生は11名です。現在は、核家族化が進み地域での人間関係も希薄であるからか、学校で同世代としか付き合い合わない学生の多くは、年長者との付き合い方が上手くありません。また、今の学校には師弟関係と言わなければならない関係が少なく、学生達が鍛えられていないと感じます。加えて、与えられた課題をこなす机上の勉強に偏っているため、自主性や工夫が足りないと感じます。企業の新入社員教育は大変だろなと痛感しています。



学校で教わってきたことと社会で求められる能力は異なる部分が多く、意識が変わり始めます。その様子を見ると、二十代の私でさえ、若さとは無限の可能性だなどと思えます。少しでも学校で得られない何かを掴んで欲しいです。

2月の主な活動

- 1日：宇多野学区新年懇親会、大映通り商店街新年会
- 2日：「自治基本条例」検討会を傍聴
- 5日：京北黒田町の治山ダムを視察
- 6日：近畿農政局への予算要望
- 11日：建国を記念しての街頭演説
- 12日：京都地籍シンポジウム2009
- 13日：京都府私立幼稚園PTA連合会総会
- 14日：綾部市「水源の里」を視察（青年政治大学校）
- 15日：右京少年野球振興会指導者総会
- 19日：京都ビジネス交流フェア2009
- 20日：京都府立豊学校高等部卒業記念展
- 26日：京都府立嵯峨野高校卒業式

<京北黒田町の治山ダムを視察>

間伐されない人工林では、大雨が降れば木が根こそぎ倒れ、土砂が流出しやすくなります。下流の被害を軽減するため、土砂の流出を防ぐダムが築かれています。本来は間伐を続けて抜本的に山を作りかえるべきです。



<建国を記念しての街頭演説>

今年、神武天皇の即位から2669年目です。先人のおかげで今の日本があります。先人に感謝しつつ、我々は後世にどのような国を残すべきか考えましよう、と訴えました。

議員のまいにち業務

◆多くの方々との交流

議員は、住民を代表して行政を監視し、また行政に様々な提案をできる仕事です。その職責をしっかりと果たすためには、多くの方々と交流し、視野を広げ、様々な立場の意見を代弁できるようにする必要があります。昨年末から今までに、地域組織や業界団体などの忘・新年会にそれぞれ30回ほど参加させて頂きました。

◆議会以外の場でも行政と話をする

そうした皆様との交流の中で、行政と相談しなければ解決できない地域・業界の課題や個人の困り事などのご相談を頂く、議会とは関係なく役所と話し合います。その時にしっかりと話ができるように、日頃から行政上の知識など、幅広く勉強しています。担当を持つ役人と違い、議員は行政が扱う全ての分野について、幅広く知っている必要があります。

◆事務所の経営

そうした活動の拠点が事務所ですが、その経営者としての仕事はなかなか大変です。事務所を持てば、電話がかかり、郵便物が届き、そして来客があります。また、活動に伴って、日程調整・会計処理・名簿の更新などが必要となります。また、この「しんじ通信」の編集・発行や、HPの更新などの広報の仕事があります。さらに、皆様との交流のために、各種の行事を企画・開催すると、その作業があります。公設秘書が認められていない地方議員は、それらの業務を管理し、事務所職員に指示しつつ、自ら作業を行います。地方議員は、零細事業所の経営者のようでもあります。